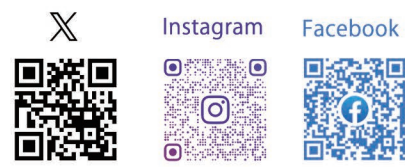




埼玉県議会議員

チェンジ!  
埼玉の未来を拓く。  
(上尾市/伊奈町 選出)



県政報告 第4号

お  
ば  
な

# 尾花あきひと

編集・発行/埼玉県議会自由民主党議員団 尾花あきひと事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市 仲町1-5-7  
TEL: 048(773)7033 FAX: 048(773)6287 E-mail: a-obana@obana-m.jp [県議会レポート]

埼玉県 令和6年度一般会計予算

約 2兆1,197億4千万円

を議決・成立!!

予算委員会で登壇・質疑  
【県議会議事堂】

春の県議会では「令和6年度当初予算」をはじめ各議案を審査し 予算案は共産党を除く賛成多数で成立、議会からの付帯決議として「保育士や看護師の人材不足への財政支援」等を求め、県政の新年度がスタートしました。

各地域のお声による 我々県議団の提案も反映された予算案は2兆円超の規模となり、我々は議会日程を通じて多角的に質疑を行い、知事以下 県庁執行部と 埼玉県の現在・未来について、激しく議論を交わしました。

少子高齢化や、国の「こども未来戦略」も動き出す中、若年人口急減が予測される2030年代から逆算して、都道府県・市町村が役割を明確・最大化する準備が早急に必要です。また、デジタル技術や庁内連携の強化により県民サービス水準を下げず歳出額を抑える工夫は必須で

すが 事業削減論だけでは本末転倒ゆえ、今後は同じ予算でも効果を高める手法や 民間連携、将来の賑わいを生む投資政策の判断・決断力が各自治体に求められていきます。そのため、行政が従来枠から一歩踏み出し民間等と連携する文化や、県の直接政策のみならず市町村の動きを後押しすることが、我々の重要な仕事になると考えています。

2010年代の「地方創生」は補助金主体のまちづくり例を全国に生んだ一方、真に持続力を持つ事例では行政だけでなく まちの人や民間の協力体制が出来ていることが特徴です。引き続き 県議団の連携で県内各地の情報を掴みつつも 地域内の人を結ぶ基本姿勢を貫き、上尾・伊奈の発展が県に寄与するような政策提言に努めてまいります。

予算の概要



## 予算委員会での主な質疑

尾花あきひと  
プロフィール

- 1983年 上尾生まれ (40歳)
- 明治大学 政治経済学部 卒  
(元東京都副知事青山俊之(都市政策専攻))
- 家族: 妻 長女 次女 父母 弟 愛犬 愛猫2匹(元保護)
- 略歴: TV助監督(共同テレビ等) 大和商事(株) 常務取締役
- 趣味 特技: スキー/登山/書道/映画
- 埼玉県議会議員(企画財政委員 → 新県土都市整備委員)  
日本パライオ友好議連 事務局長 男女共同参画議連 監事  
[新]教育現場におけるいじめ防止対策PT 事務局長
- 元 上尾市議会議員(2期)
- 明治大学代議員 埼玉中央青年会議所常任理事  
上尾商工会議所青年部 監事 伊奈町商工会青年部

**企画財政** 基金(貯金)状況と、国からの「こどもまんなか」補助制度の活用状況を質疑。埼玉県の財政は安定しているものの基金残が少ない特徴があり 県が「財政的余裕は少ない」と答弁するなか「年度当初の現在は まだ国の補助活用が間に合っていないものもある」と回答があったため「国の補助の積極活用」と「市町村への情報提供・連携」による(今後の追加予算化も含めた)「子育て支援策や施設整備推進」を提案。また「従来の福祉 教育分野だけでなく産業や都市整備に 子育て目線を入れる仕組み」を提案しました。

**保健医療** 厚労省が「都市部でのオンライン診療」(※公民館等に集まったの診察等が可能になる)を解禁したため、まずは県内各地域の需要を県が積極的に把握するよう提案。医療機関のみでなく市町村も対象に説明会開催を提案し 県は実施すると答弁しました。また救急車ひっ迫対策として「119番前に電話相談できる制度」の拡充・人員強化を提案。

**県土都市整備** 災害激甚化をふまえ国の国土強靱化補助の継続要望を打診。市町村の要望も県が改めて取りまとめ国に伝達するよう提案。新規事業「県内冠水箇所へのセンサー・警報の試験設置」については、全域展開と民間ナビにも情報を表示するよう提案。

**危機管理** 「災害時に市町村が発行する『り災証明書』の様式が市町村ごとにバラバラゆえ 大規模災害時に発行業務が遅れる問題」をふまえ、様式を統一化するよう各市町村への要請を打診。「統一化されていない市町村に対し早急に促す」と県は回答しました。

**警察本部** 「交通信号の灯機について、メーカーが 従来の白熱電球をR10年度までに生産中止すると発表した為 LED化ペースを加速しないと県内信号機が使用不能となる危険」を昨秋に提起。大幅に予算化が実現し、以降 同ペースが維持できれば間に合う形となりました。



# 上尾 伊奈エリアの 主な県事業

## <路線名・箇所等>

## <事業概要>

- ① BS通り(北上尾立体) 道路改良(L=410m、W=13.0(27.0)m)
- ② 旧中山道(上) 電線地中化(道路)整備(予備設計)
- ③ シラコバト団地まちづくり 建替え後余剰地で最先端技術の住宅街区整備
- ④ さいたま菖蒲線(寿三丁目) 舗装道整備(舗装修繕W=7.6m、L=200m)
- ⑤ 第二産業道路(平塚) 道路改良(L=1,300m、W=13.0(33.0)m)
- ⑥ 川越上尾線(平方) 自転車通行環境整備(詳細設計、整備)
- ⑦ 川越上尾線(平方) 路盤再生(舗装修繕W=7m、L=300m)
- ⑧ 上尾環状線(小敷谷) 路盤再生(舗装修繕W=9.8m、L=200m)
- ⑨ 川越上尾線(向山) 路盤再生(舗装修繕W=6.5m、L=200m)
- ⑩ 鴨川 河川改修、浚せつ
- ⑪ 旧中山道(宮本町) バリアフリー安全対策(詳細設計)
- ⑫ 旧中山道(仲町) 交通信号機制御変更
- ⑬ 上尾蓮田線(平塚) 交通安全施設整備(L=60m、W=6.0(9.5)m)
- ⑭ 第二産業道路 道路案内標識(経路案内) 表示内容変更
- ⑮ 上尾蓮田線(平塚橋) 橋りょう架け換え(L=4m、W=6.0(12.0)m)
- ⑯ 蓮田鴻巣線 道路改築(L=650m、W=6.0(18.0)m)
- ⑰ 蓮田鴻巣線(小室) 舗装道整備(舗装修繕W=6m、L=250m)
- ⑱ 上尾運動公園(水上公園跡) 民間活力によるスポーツ科学拠点施設整備
- ⑲ 上尾環状線(原市) 道路環境整備(側溝修繕工L=150m)
- ⑳ 上尾環状線(上尾下) 自転車通行環境整備(詳細設計、整備)
- ㉑ 上尾環状線(小室) 自転車歩行者道整備(L=300m、W=6.0(12.0)m)
- ㉒ 第二産業道路(原市) 道路環境整備(防草対策工L=1600m)
- ㉓ 原市沼川 河川改修(調節池整備工 地質調査 測量設計 用地費)

## <詳細・補足>



① 高崎線をくぐる立体交差化。昨年の尾花質問により事業に20年ぶりに動きが。R6予算では4車線予定のうち2車線先行させ予備設計を実施。JRと県庁部署調整も同時並行で進める。

② 歩道下に電力・通信用のパイプを埋設する R6は予備設計を実施(850m×両側予定)

③ 老朽化をふまえた集約建替えで生じる土地に先端技術を導入した住宅街区整備を計画

④ 舗装の打ち替え工事を実施



⑥ R6-7にかけのべ2.4kmの自転車道を整備



⑩ 浚せつで大規模なヘドロ撤去と護岸整備

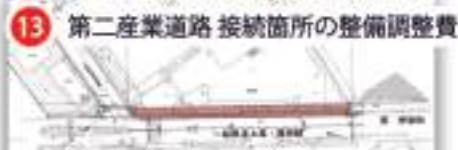


⑪ JR上尾駅東口 旧中山道沿いの歩道(両側) バリアフリー化等の安全対策工事

⑦ ⑧ ⑨ ⑰

アスファルト下の路盤の再生 近年「経年により表面修繕では対応しきれない陥没」が多発し 地中の路盤ごと再生を実施する

⑫ 上尾小入口交差点の信号機 ボタンを押した際の待ち時間を短縮



⑬ 第二産業道路 接続箇所の整備調整費



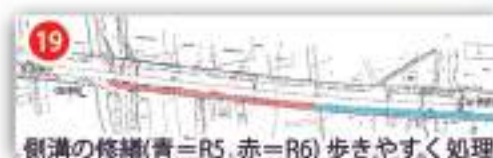
⑭ 第二産業道路開通部の市町方向表示に当初なかった「伊奈町」を追記依頼し実現



⑮ 大雨の際に原市沼川から冠水する箇所 R6年は橋を架け替えるほか、道路もかさあげし 貯留構造物を入れる



⑯ 用地整理用予算を形状



⑲ 側溝の修繕(青=R5、赤=R6) 歩きやすく処理



⑳ R6-7にかけ3.0kmの自転車道整備



㉑ 歩道整備用の用地整理予算

⑱ 運動公園内に「スポーツ科学拠点施設」整備が開始。五輪選手育成にも繋ぐアスリートと県民の体力健康と賑わいづくり案を民間業者から公募する計画。施設の1つである体育館について上尾市から「国際試合が誘致可能な5000人規模を」と希望があったため知事および他党代表に対し市が要望を伝える場を設営した。収益性と賑わいが実現できる魅力的な整備が可能か、細かいチェック・提案を重視。

⑳ 雑草対策として 路面をコンクリ処理



令和6年度、上尾市 伊奈町内において 予算確保できた主なインフラ事業と前年度末のご要望に対応した動き等をご報告いたします。  
(※一部 R5末補正、R5予算内で実施したものも含む)

特に国土強靱化が急がれる河川については 昨年度比で 上尾1.7倍、伊奈7.5倍の大規模予算を確保!!



長年お待たせした調節池整備の大規模予算を確保。私から上尾・伊奈両方での地元説明会を要請し実現。平時の池底面利用による憩いの場づくりを提案中。

## その他の活動



能登半島地震 募金活動のほか 避難者への県営住宅提供を打診



各種地元行事にお招き いただきご挨拶・交流

県予算審査に先立ち 上尾市長はじめ上尾市の 依頼を受け 地元要望を各党派と大野知事に繋ぐ場を設けた 伊奈町長とも日頃から連携



各都道府県議員で協議 した意見を集約し 自民党本部に対して 政治資金関連の 説明責任履行と 法改正を強く申し入れ



議会日以外に 会派PT(プロジェクトチーム)を組み 政策調査。昨年末より順次 県内の子育て関係団体 をお招きし 現場の課題や要望を重点ヒアリング中



県議団がR6年5月に新たに立ち上げた 「教育現場等におけるいじめ防止対策PT」 の事務局長を任命。運営を担う



研修で、蔡英文・台湾 前総統に直接質問する機会をもらい 「台湾有事の際の 国と地方の連携体制」を質問